

引込み口径簡易算定表  
(表14)引込み口径簡易算定表

分水栓から一番奥の給水栓までの配管距離																				
水栓数	使用水栓	水量 (ℓ/分)	配管距離 (m)																	
			10m	15m	20m	25m	30m	35m	40m	45m	50m	55m	60m	65m	70m	75m	80m	85m	90m	95m
1	1	15.0																		
2	2	17.5																		
3	2	20.0																		
4	2	22.5																		
5	2	25.0																		
6	2	27.5																		
7	2	30.0																		
8	3	32.1																		
9	3	34.3																		
10	3	36.4																		
11	3	38.6																		
12	3	40.7																		
13	3	42.9																		
14	3	45.0																		
15	4	46.9																		
16	4	48.7																		
17	4	50.6																		
18	4	52.5																		
19	4	54.4																		
20	4	56.2																		
21	4	58.1																		
22	4	60.0																		
23	5	61.9																		
24	5	63.7																		
25	5	65.6																		
26	5	67.5																		
27	5	69.4																		
28	5	71.2																		
29	5	73.1																		
30	5	75.0																		

(表14)の作成条件

- ① 給水栓は、すべてφ13とし標準水量は15ℓ/分としている。
- ② サドル分水栓・止水栓・水道メーター及び配管継手(総損失水頭の10%)の損失水頭は含んでいる。
- ③ 使用水栓は2階給水を考慮している。
- ④ 同時使用率等を考慮している。
- ⑤ 水栓数には、散水栓等は含んでいない。

(注) この表は、配水管及び給水主管から分岐した給水管に接続できる水栓数の関係を一定条件で求めたものであり、使用状況等が表作成条件と異なる場合は、「5給水管の口径等決定」に基づき口径等決定すること。